

1. 音響玩具

- ① 複数の音が出る玩具や、レア音のある玩具などは、テストモードなど全ての音を出来る限り連続的に再生する簡単な操作法をお知らせ下さい。
- ② 全数十曲など非常に多くの音のパターンを持つ玩具は、最大音3音以上のご申告と再生方法をお知らせ下さい。(C様式)
また、キーボード、ピアノ玩具など、「曲・楽器・鍵盤等」の組み合わせで「同時に音が重なる重なり音」が多数あるものについても、その情報及び最大音3音以上のご申告をお願いします。
なお、提出書類の参考として、(一財)日本文化用品安全試験所HPに申請書見本が掲載されております。(C様式)
http://www.mgsl.or.jp/Portals/0/images/news/HP_news_onkyo_2014.10.pdf
(複数のパターンで音が大きいものは納期がかかります。)
- ③ 玩具のどの方向(正面、上面など)が最も音が大きいのか、スピーカーの位置はどこかをお知らせ下さい。(玩具の表面からスピーカー位置が分からないものはお知らせ下さい。)
- ④ 音響測定は、物理検査(落下試験など)に先だてて行う必要がありますため、検査スケジュールがタイトになることが予想されます。音響試験用の検体を物理検査とは別にご提供頂けますようお願いいたします。

※①～④を検査機関で確認出来ない場合や、その他、測定に非常に手数がかかる玩具及び音響検査の申請が多くあった場合については検査完了納期を延長させて頂く場合がございます。

2. 組み立てる玩具

子供が組み立てて遊ぶ玩具で、かつ組立後にも遊びの要素がある玩具は、組立前のパーツセットの状態に加えて組立後の完成品の試験も必要となります。次のような玩具は、試験依頼の際は市販状態のパーツセットに加えて、組立後の完成品もご提供下さい。

- ・プラモデル、立体パズル、専用の組立完成体があるブロック玩具
- ・作成キット玩具「編み物キット等」は提出された玩具内で作ることが可能な完成品を提出。
- ・科学組立キット 例えば数種のタイヤ、シャーシ、ベルト、モーターなどから成るセット。
色々な組立方が可能な物は代表的な形(尖りなど危険性が高い形)
- ・大型のサーキット場等
⇒ジャングルジム等(ブランコ、すべり台等)、完成体が極めて大きい為、移動できない玩具は、こちらで組み立てることになる為、その日数を含めた検査納期(延長)となります。

3. 洗濯可の表示がある玩具

洗濯可の表示がある玩具につきましては、物理検査用とは別に、追加の検体のご提供をお願いいたします。

- ・家庭用の洗濯乾燥機を使い、洗濯と乾燥を6回繰り返した後に一連の試験を行います。
このため、乾燥に要する時間により、試験日数が多くなる場合があります。
- ・お手数ですがオンライン申請時の備考欄などに「洗濯可」との記入をお願いします。
- ・「手洗い」などの表示があっても、原則として「手洗いモードでの機械洗い」となりますので御了承下さい。

4. 磁石を含む玩具

- ・磁石を含む玩具を申請される場合、物理検査用の検体とは別に、中から取り出した「磁石のみ」の提出もお願いいたします。磁石のみの提出がない場合、検査納期が延長となります。
- ・磁石が使用されているときは、従来通り、ST申請の際に、備考欄に「磁石玩具」の記入をお願いします。

5. その他

特定の検査項目や特殊な玩具の場合、その玩具の検査が集中した時には、通常の検査完了納期から延長させて頂くことがありますのでご了承願います。また特殊な検体で1点だけでは検査完了できない時には検体の追加を求める場合がありますのでご了承願います。(納期も延長)